

# 八戸工業大学学則(抜粋)

制定 昭和47年4月1日

改正 令和2年5月29日

## 第2章 学部構成および教育研究上の目的

第3条 本学に、次の学部および学科を置く。

工学部

機械工学科

電気電子工学科

システム情報工学科

生命環境科学科

土木建築工学科

感性デザイン学部

創生デザイン学科

2 工学部および感性デザイン学部の教育研究上の目的は、次の通りとする。

一 工学部

豊かな人間性と総合的な判断力をもった人材、社会の変化に対応できる柔軟な思考力をもった人材、工学の基礎原理を踏まえ高度な応用展開能力をもった人材、および地域社会への関心とともにグローバルな視野をもった人材を育成するとともに、機械、電気・電子、土木・建築、情報、生命・環境、原子力および海洋などの工学・科学に関する教育研究の実施と成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

二 感性デザイン学部

豊かな人間性と総合的な判断力をもった人材、社会の変化に対応できる柔軟な思考力をもった人材、デザインの諸原理の理解とそれらの応用・展開力をもった人材、現代社会が抱える問題を発見し、その解決ができる人材、および地域社会への関心とグローバルな視野を有し、豊かな生活と幸福な社会づくりに貢献できる人材を育成するとともに、人々の生活の視点に立ったデザイン、地域の資源や資産を活かしたデザインを探求し、これらの成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

3 各学科における教育研究上の目的は、次の通りとする。

一 機械工学科

多様化した社会ニーズに応えるため、必要な科学と機械工学の知識、幅広い教養と倫理観および問題解決・応用展開能力をもった機械技術者を養成するとともに、材料力学および機械力学、熱力学および流体力学、情報および制御工学、材料および設計・加工学、自動車工学などに関する研究の実施と成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

二 電気電子工学科

未来の産業創造と社会変革に対応するため、電気電子工学の深い知識と幅広い教養、俯瞰的視野ならびに倫理観を有し、豊かな人間性と総合的な判断力、問題解決・応用展開能力、構想力、自己表現力、協働性を備え、地域社会への関心と国際的視野をもった技術者を育成するとともに、電気エネルギーシステム、電子デバイス・システム制御、情報・通信・メディアに関する教育研究の実施と成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

### 三 システム情報工学科

情報通信技術の分野で地域産業の活性化と発展をはかるため、必要となる科学と工学の基礎知識、情報技術の専門知識ならびに国際的視野に立った幅広い教養と倫理観を備え、時代の変化に対応できる能力をもった技術者を養成するとともに、マルチメディア、ネットワーク、セキュリティ、システムなどの情報分野および情報関連分野に関する研究の実施と成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

### 四 生命環境科学科

生命、食品、環境分野における多様なニーズに応えるため、幅広い教養と倫理観および環境保全や食の安全、生物資源に関する専門知識を備え、問題解決・応用展開能力をもった環境調和プロセス技術者を養成するとともに、生命科学、食品科学、環境科学、化学工学および海洋学に関する研究の実施と成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

### 五 土木建築工学科

社会基盤と居住空間の整備、自然環境と調和した地域社会の発展、地域・文化・時代により変化する建設分野への要請および諸課題へ対応するため、必要な科学と土木・建築工学技術の知識、幅広い教養と倫理観、コミュニケーション能力、生涯自己学習能力および問題解決・応用展開能力をもった技術者を養成するとともに、土木工学および建築工学に関する研究の実施と成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

### 六 創生デザイン学科

社会構造の変化、価値観の多様化などの地政学的・文化的・史的背景を理解し、対象の価値を再構成したり転換したりできる力、複眼的な視点で価値を具体的な形に表現する力、地域の多様なあるべき姿を構想する力を有し、社会の発展と文化の振興、地域社会における資源と資産の価値化と共有の実現に携わることができる人材を養成するとともに、デザイン学およびその関連分野に関わる教育研究活動を実施し、これらの成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

# 八戸工業大学学則(抜粋)

制定 昭和47年4月1日

改正 令和4年4月1日

## 第2章 学部構成及び教育研究上の目的

第3条 本学に、次の学部及び学科を置く。

工学部

工学科

感性デザイン学部

感性デザイン学科

2 工学部及び感性デザイン学部の教育研究上の目的は、次の通りとする。

一 工学部

豊かな人間性と総合的な判断力をもった人材、社会の変化に対応できる柔軟な思考力をもった人材、工学の基礎原理を踏まえ高度な応用展開能力をもった人材、及び地域社会への関心とともにグローバルな視野をもった人材を育成するとともに、機械、電気・電子・通信、建築・土木、情報、生命・環境、原子力、ロボット及び海洋などの工学・科学に関する教育研究の実施と成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

二 感性デザイン学部

豊かな人間性と総合的な判断力をもった人材、社会の変化に対応できる柔軟な思考力をもった人材、デザイン学の諸原理を踏まえ高度な応用展開力をもった人材、現代社会が抱える問題を発見し、その解決に貢献できる人材、及び地域社会への関心を有するとともに、多文化・異文化を理解し、幸福な社会づくりに貢献できる人材を育成するとともに、デザイン学及びその関連分野に関する教育研究の実施と成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

3 各学科における教育研究上の目的は、次の通りとする。

一 工学科

多様化した社会ニーズに対応するため、広い視野と教養、倫理観、総合的な判断力及びコミュニケーション能力を持ち、情報リテラシーも含めた科学と工学の基礎知識、さらに社会の変化に柔軟に対処できる問題解決・応用展開能力を備えた技術者を育成するとともに、機械、電気電子通信、システム情報、生命環境、建築・土木のいずれかの専門分野、及び原子力、ロボット、海洋などの発展分野の教育研究の実施と成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

二 感性デザイン学科

社会構造の変化、価値観の多様化などの地政学的・文化的・史的背景を理解し、対象の価値を再構成したり転換したりできる力、複眼的な視点で価値を具体的な形に表現する力、地域の多様なあるべき姿を構想する力を有し、社会の発展と文化の振興、地域社会における資源と資産の価値化と共有の実現に携わることができる人材を養成するとともに、デザイン学及びその関連分野に関わる教育研究活動の実施と成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること